

「VIPOアカデミー」 コーポレートリーダー育成コース 第2期プログラム 説明資料

2015年7月



特定非営利活動法人 映像産業振興機構 (VIPO)
人材育成事業部

はじめに

映像産業振興機構(VIPO)は、映画、放送、アニメーション、ゲーム、音楽などの日本のコンテンツ産業を国際競争力のあるものとし、日本経済の活性化に寄与することを目的として、「市場開拓」と「人材育成」という2つの事業を柱として活動している、コンテンツ業界のためのNPO法人です。

現在、市場開拓事業としては、日本のコンテンツの海外展開を支援するJ-LOP、J-LOP+やコ・フェスタといった海外市場開拓の事業を中心に展開しており、人材育成事業としては、ndic(若手映画作家育成プロジェクト)やメディア・映像業界就職セミナーといった事業を中心に展開しております。

現在、日本のコンテンツ産業は、産業構造の変化の中で国内市場は縮小傾向にあり、今後は海外展開やインターネットへの対応とともに、映画、テレビ番組、ゲーム、音楽といった従来の枠におさまらない形でのコンテンツ展開をさらにスピードアップさせることが求められております。

そうした状況の中、既存のビジネスを超えた他社とのコラボレーションや、新規ビジネスを含めて事業全体をマネジメントできる経営幹部人材が、これまで以上に必要とされるようになって考えております。

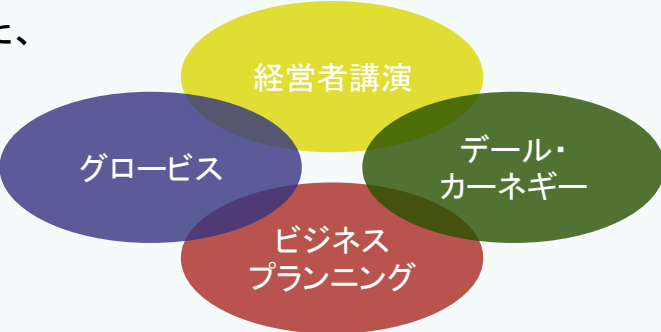
そこで、本年度より、コンテンツ業界及び業界各社の中長期的なビジネスの発展のために、新規事業として、「VIPOアカデミー」というコンテンツ業界のための人材育成プログラムを提供することにいたしました。VIPOの持つ幅広い業界のネットワークを最大限に活用した独自のプログラムを開発し、まず5月からコーポレートリーダー育成コースを開講し、コンテンツ業界のリーダー育成を進めています。

9月からは第2期コーポレートリーダー育成コースと、新たにグローバルリーダー育成コースを開講しますので、是非ご参画ください。

プロジェクトリーダーから コーポレートリーダーへ

エンタメ・コンテンツ業界のミドルリーダーが
プロジェクトを成功に導くプロデューサー型人材から
会社を成長させることができる経営幹部人材へと
進化していくためのきっかけを提供する

プログラム概要

趣旨	エンタメ・コンテンツ業界向けに独自開発した育成プログラムを通して、 <u>プロジェクトリーダー(プロデューサー型人材)</u> を、 <u>コーポレートリーダー(経営幹部人材)</u> へ進化させるきっかけを提供する
目的	<ul style="list-style-type: none">• 経営者視点を養い、経営幹部になるために必要とされる<u>経営スキル</u>を身につける• コーポレートリーダーとして必要なスキルを習得し、<u>リーダーシップを最大限に引き出す</u>• 他社のリーダーと刺激し合い、ビジネスに発展するような<u>ネットワークを構築する</u>
受講者	コンテンツ業界のミドルリーダー < <u>課長クラス以上、35~45歳前後</u> > <u>各社1名</u> までの選抜人材、 <u>定員25名</u>
日程	2015年9月3日(木)~12月10日(木) < <u>全11回、15コマ</u> >
会場	映像産業振興機構(VIPO) ホールR (東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル2F)
受講料	<u>1名 40万円(税抜)</u> ※ <u>VIPO会員は1名 30万円(税抜)</u>
プログラム構成	<p>以下の4つのプログラムを統合してVIPOが開発した、コンテンツ業界向けのオリジナルプログラム</p> <ul style="list-style-type: none">• グロービス・エグゼクティブ・スクール• デール・カーネギー・トレーニング• 経営者の講演とグループディスカッション• ビジネスプランニングとプレゼンテーション 

プログラムパートナー ① グロービス・エグゼクティブ・スクール

グロービスとは

1992年に設立された日本最大のビジネス・スクール。
ハーバード・ビジネス・スクールを中心とした教材と教育手法(ケースメソッド)による教育プログラムを用いて、年間1万人以上が通学するビジネススクールと、年間250社を超える企業研修、在校生1,000名超のMBA(経営学修士)を発行する経営大学院を運営。

グロービス・エグゼクティブ・スクールとは

グロービスが提供する企業の中核を担うマネジメント層向けに開発された経営幹部養成プログラム。
最前線で活躍するリーダー達が、現実^に直面するビジネス課題を議論。

経営者の視座・視点を獲得する

意思決定力・組織マネジメント力を養う

志や責任感の涵養を図る



GLOBIS

グロービス・エグゼクティブ・スクールの特徴

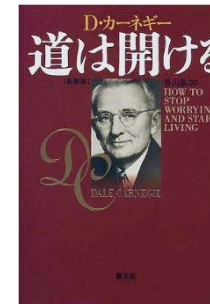
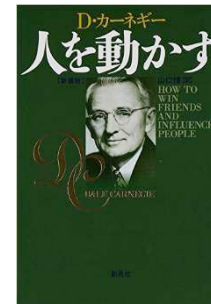
- (1) ビジネスの先端課題を反映した実践的なプログラム内容
- (2) 第一線のビジネス経験と体系的な知識、高いファシリテーションスキルを持つ卓越した講師陣
- (3) 豊富な実績に基づいた経営の知見や教育ノウハウの蓄積

ケースメソッドによる受講者間での実践的なディスカッションにより、
コンテンツ業界の経営幹部に必要とされるビジネスリーダーシップを身につける

プログラムパートナー ② デール・カーネギー・トレーニング

デール・カーネギーとは

1888年生まれのアメリカの作家で、自己開発、セールス、企業トレーニング、スピーチおよび対人スキルに関する各種コースの開発者。世界で1,500万部以上、日本で400万部以上を売り上げたベストセラー『人を動かす』、『道は開ける』の著者として有名。



デール・カーネギー・トレーニングとは

デール・カーネギーのテクニックに基づき、チームダイナミクスとグループ活動による演習を軸とした実践的プログラム。1912年の発足以来、80か国以上に支部を展開し、これまでに900万人以上がコースを修了（日本でも1963年から開講）。



DALE CARNEGIE®
TRAINING

デール・カーネギー・トレーニングの特徴

- (1) 企業トレーニング会社として、世界でも日本でも最も長い歴史を持っている
- (2) フォーチュン500のうち80%以上の企業で採用され、高い評価を得ている
- (3) 全員が18カ月以上の厳しいトレーニングを受けたトレーナーである

チームダイナミクスを取り入れた受講者間での実践的な演習により、コンテンツ業界の経営幹部に必要とされるパーソナルリーダーシップを身につける

プログラムの全体像

構成

マネジメント・プログラム
(協力:グロービス)

リーダーシップ・プログラム
(協力:デール・カーネギー・トレーニング)

業界経営者の講演

オリエンテーションとプレゼンテーション

プログラム内容

	9/3 (木)	9/13 (日)	9/27 (日)	10/8 (木)	10/17 (土)	
午前 10:00-13:30		コーポレートリーダーの 役割と成長	イノベーションを生む マネジメント・組織		イノベーションと プランニング	
午後 14:30-18:00		コーポレートリーダーが 持つべき視座・視点	持続成長可能な 組織の特徴・要諦		経営者講演 ①	
夜間 19:00-22:30	オリエンテーション	(懇親会)		リーダーシップ開発と 組織成果の達成		
	10/29 (木)	11/5 (木)	11/12 (木)	11/19 (木)	11/28 (土)	12/10 (木)
午前 10:00-13:30					経営者講演 ②	
午後 14:30-18:00					成果の発表と 成長のコミットメント	
夜間 19:00-22:30	パフォーマンス評価と コーチングプロセス	問題分析・意思決定と 潜在能力の発見	デリゲーションと ミスへの対応	コミュニケーションと ミーティング	(懇親会)	イノベーションプラン プレゼンテーション

※ 参加者の方へ最適なプログラムを提供するため、プログラム内容は多少の変更の可能性があります。

プログラム内容（前半）

9月3日(木) 夜間

オリエンテーション

プログラムの概要や注意点などの説明と質疑応答を行った後、ワークショップを通して参加者同士の相互理解と交流を図る。

9月13日(日) 午前

コーポレートリーダーの役割と成長

リーダーが果たすべき役割（成果創出と人材育成）について考えた後に、その役割を果たす上でのリーダーの成長の意味合いと、自己成長の加速のさせ方について考える(学び方を学ぶ)。

9月13日(日) 午後

コーポレートリーダーが持つべき視座・視点

コーポレートリーダー(経営幹部人材)に求められる視座・視点について考え、経営者とマネージャーの違いや自分の現状とのギャップを認識する。

9月27日(日) 午前

イノベーションを生むマネジメント・組織

イノベーションを生むための個のマネジメント/組織のあるべき姿について考え、リーダーが果たすべき役割・取るべき行動を考える。

9月27日(日) 午後

持続成長可能な組織の特徴・要諦

飛躍した企業に共通して見られた人・組織の状態・特徴について考え、コーポレートリーダーが果たすべき役割・取るべき行動を考える。

10月8日(木) 夜間

リーダーシップ開発と組織成果の達成

リーダーシップとマネジメントの違いを理解し、ビジョンを作成する。目標達成への課題を整理し、タイムマネジメントと部下のモチベーションレベルを把握する手法を理解する。

10月17日(土) 午前

イノベーションプロセスとプランニングプロセス

斬新なアイデアを促す環境を作り出し、問題解決と改善のためのイノベーションプロセスをマスターする。ビジョンを実行に移すステップを明確にして実効化する。

10月17日(土) 午後

業界経営者講演 ①

異業種でのビジネス経験があるコンテンツ業界の経営者から、ビジョンや成功体験・失敗談を直接聞くことで経営マインドを醸成し、グループでディスカッションを通して学びを吸収する。

※ 参加者の方へ最適なプログラムを提供するため、プログラム内容は多少の変更の可能性があります。

プログラム内容（後半）

10月29日(木) 夜間

パフォーマンス評価と コーチングプロセス

組織の目標を測定可能な結果へ置き換え、明確な業績目標を設定する。
自己成長サイクルを理解し、コーチングプロセスを実践して部下の業績を改善する。

11月5日(木) 夜間

問題分析・意思決定と 潜在能力の発見

問題の本質を見抜く3つの意思決定方法を習得し、「ストレスに打ち勝つ原則」を実践する。
メンバーのモチベーションを高めるファクターを特定し、効果的な関係を築く。

11月12日(木) 夜間

デリゲーションと ミスへの対応

メンバーを育てるために仕事と責任を与え、パフォーマンス評価基準を示す。
人間関係のアプローチを使ってミスを効果的に処理し、適切にマネジメントする。

11月19日(木) 夜間

コミュニケーションと ミーティング

フィードバックの機会をつくり、部下との関係を強化する効果的な質問とリスニングスキルを強化する。
リーダーシップの原則を使って参加者の意識を高め、会議をリードする。

11月28日(土) 午前

業界経営者講演 ②

海外でのビジネス経験が豊富なコンテンツ業界の経営者から、ビジョンや成功体験・失敗談を直接聞くことで経営マインドを醸成し、グループディスカッションを通して学びを吸収する。

11月28日(土) 午後

成果の発表と 成長のコミット

自らの組織に変化を売り込み、アイデアを実効計画へと移す能力を示す。
このトレーニングの個人的な結果を示し、将来のリーダーシップ開発のためのゴールを設定する。

12月10日(木) 夜間

イノベーションプラン プレゼンテーション

グループワークで作成したコンテンツ業界発展のためのイノベーションプランを、受講者の所属企業の経営者たちの前で、グループごとにプレゼンテーションする。

※ 参加者の方へ最適なプログラムを提供するため、プログラム内容は多少の変更の可能性があります。

第1期受講者情報(2015年5月時点) (会社名五十音順、敬称略)

アスミック・エース	メディア事業本部 コンテンツ調達部 副部長	池田 穰
イマジカ・ロボット ホールディングス	事業戦略本部 事業戦略部 課長	小島 武
エイベックス・グループ・ホールディングス	経営企画本部 経営企画部 経営企画課	塚脇 拓也
エイベックス・ピクチャーズ	コンテンツセールス部 デジタルコンテンツ・セールス課 課長	大竹 海南
KADOKAWA	事業戦略局 事業戦略室 事業戦略課	小牧 庸介
キングレコード	スターチャイルドレコード 制作宣伝部 第二グループ長	山下 義久
サンリオ	全社統括室 部長	福田 英司
JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント	海外戦略室 アシスタントマネージャー	岩永 裕史
小学館	国際メディア事業局 プロデューサー	浅井 認
松竹	映像統括部 映像戦略室	片岡 佑輔
ソニー・ミュージックエンタテインメント	経営企画グループ ゼネラル・マネージャー	上原 昌
テレビ東京	コンテンツビジネス局 ビジネス開発部	和田 佳恵
東映	国際営業部 課長	永松 勇生
東宝	経営企画部 企画室長	高梨 慶三
日本アニメーション	メディア部 マネージャー	手塚 健一
吉本興業	経営企画室長	相澤 崇裕
WOWOW	営業局 デジタルリレーション部 サブリーダー	稲垣 幸俊

第1期アンケート結果

プログラム評価

- 受講者全員が「**有益だ**」と回答(5段階評価で平均4.9)
- 受講者全員が「**他者へ受講を薦めたい**」と回答(5段階評価で平均4.9)

受講者の声

自分の考え方、意識そのものが大きく変わった。

経営者視点を持つこと、会社の理念を意識することを教えて頂いた。

リーダーシップとマネジメントスキルの違いを学べて、大変役に立った。

グループワークを通して、チームをより高いレベルで導く方法をもっと深く学びたい。

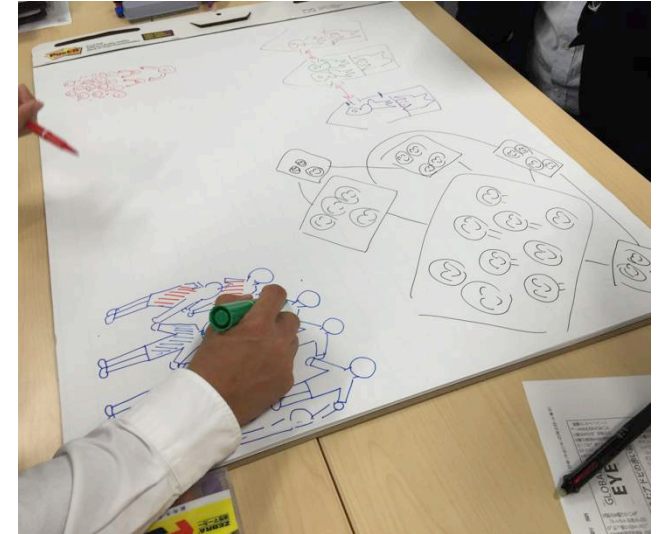
社会に出て、こういったトレーニングを受けることは本当に素晴らしい機会だと思う。

課題が多く大変だったが、それが良いストレスになって、仕事に取り組む意識が変わった。

同じ業界、同世代のメンバーと同じテーマで学ぶことができ、ネットワーキングには最適。

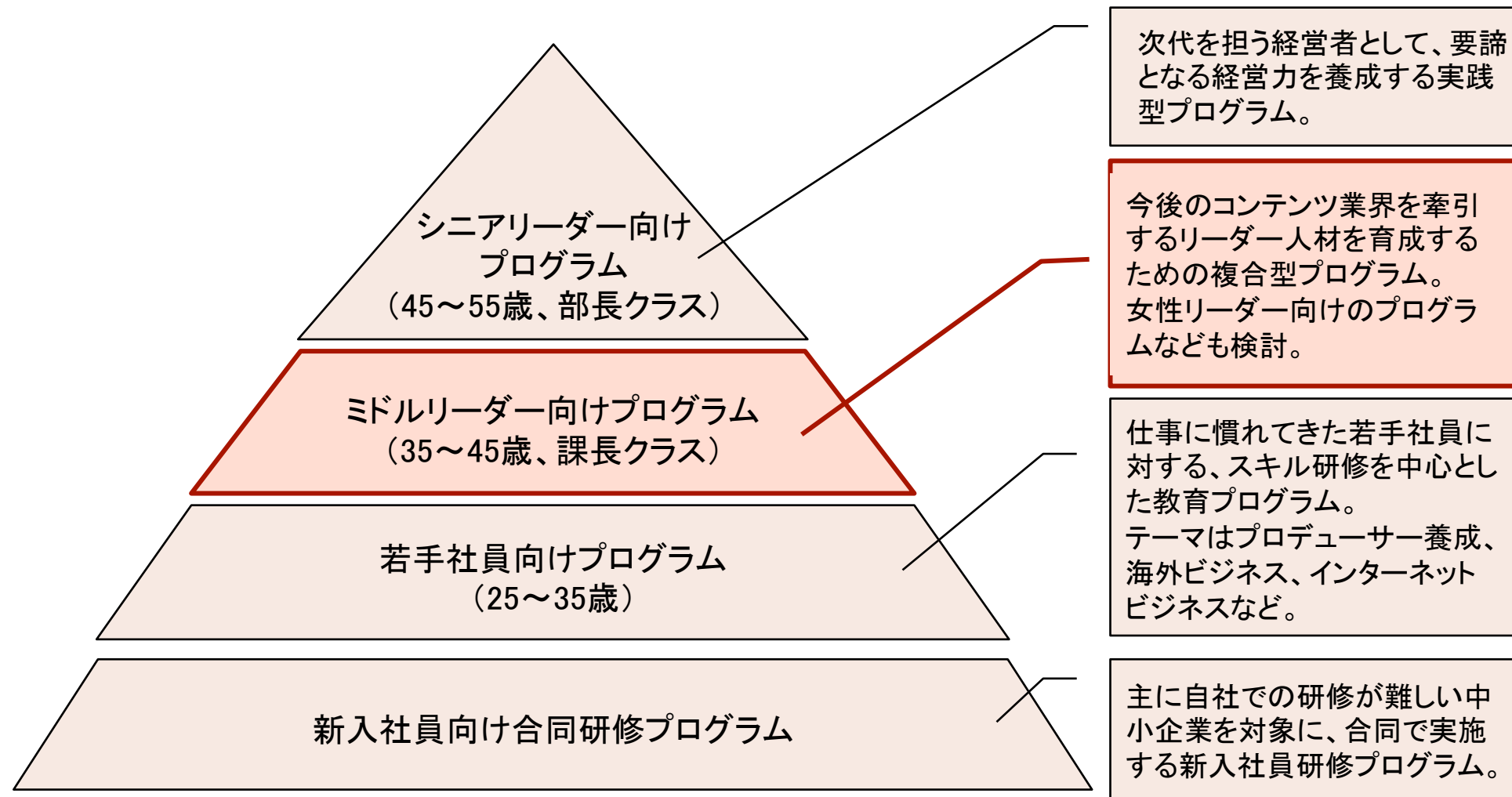
今後も継続して多くのプログラムを提供してほしい。

第1期授業風景



VIPOアカデミー 今後の展開計画 ①

今回のミドルリーダー向けプログラムを核として、対象を上下に広げたプログラムを展開し、総合的なコンテンツ業界のリーダー育成を計画。



次代を担う経営者として、要諦となる経営力を養成する実践型プログラム。

今後のコンテンツ業界を牽引するリーダー人材を育成するための複合型プログラム。女性リーダー向けのプログラムなども検討。

仕事に慣れてきた若手社員に対する、スキル研修を中心とした教育プログラム。テーマはプロデューサー養成、海外ビジネス、インターネットビジネスなど。

主に自社での研修が難しい中小企業を対象に、合同で実施する新入社員研修プログラム。

VIPOアカデミー 今後の展開計画 ②

	2015年												2016年					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
シニア リーダー 向け																		
ミドル リーダー 向け						コーポレート リーダー 第1期			コーポレート リーダー 第2期				コーポレート リーダー 第3期				コーポレート リーダー 第4期	
若手社員 向け									グローバル リーダー 第1期						ヤングリーダー 第1期			
新入社員 向け																		フレッシュマン 第1期

お申し込みは以下のページからお申し込みください。

<http://www.vipo.or.jp/ac2app/>

特定非営利活動法人 映像産業振興機構 (VIPO)
VIPOアカデミー事務局

担当：白石、吉田

〒104-0045

東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル2F

TEL：03-3543-7531

MAIL：academy@vipo.or.jp

URL：<http://www.vipo.or.jp/>